

# 《第1回パープルリボン作曲賞》 のご案内

## 【本作曲賞創設の趣旨——『音楽で 非暴力の輪 広げよう!』】

パープルリボンは、セクハラ・DV・性暴力[注1]など、女性に対する暴力防止のシンボルマークです。誰もが女性・男性の良好な関係を築きたいもの、また、本来、暴力が好きなのはいないはず。そこで、私たちはここに、非暴力の文化としての音楽財産を掘り起こす作曲コンクール《パープルリボン作曲賞》を創設し、その理念を持つ音楽を広く公募します。暴力に対抗するのは「音楽による美的体験」なのです。

さらには、この作曲賞の活動によって、職業音楽家や音楽愛好家の方々が「stop セクハラ・DV・性暴力」推進の楽曲と出会い、レパートリーに取り入れていただき、パープルリボンの理念が広がることも期待しています。音楽によって、皆が安心して暮らせる、住みよい社会環境を目指しましょう。

【注1】セクハラ・DV・性暴力には、女性被害者だけでなく、男性被害者・LGBTの被害者も存在し、現実には多様であり、我々はこれら全ての暴力の根絶を実現していきます。

### 【募集と審査に関する要項(抜粋)】

#### 【No.1】応募曲と褒賞

- 応募曲の楽器編成：ピアノ曲〔第2回は歌曲を予定〕
- 褒賞の構成

①パープルリボン作曲賞 8万円 → 作曲賞本来の賞

②ひまわり賞 [注2] 最大3作、各1万円

【注2】今回のみの特別賞としての位置づけ。DV被害体験の朗読劇「ひまわり～DVをのりこえて」の劇中音楽にふさわしい音楽を、賞として選定。

#### 【No.2】応募に際しての必要事項

- ・演奏時間は最大10分程度、それを下回る時間であれば可。
- ・応募料：一曲3500円 ・応募用紙はサイトよりダウンロード可能。

#### 【No.3】審査に関わる事項

- 【作曲賞本選会】—〔日程〕2022.11.25(金)18:50～(会場:都内)
- ・本選会での演奏曲数を最大8曲とし、応募曲が9曲以上の場合、譜面審査を行う。
- ・審査員による応募曲全体に対する講評と、受賞作のコメントをサイトに掲載する。

### 【審査員】

- 野村 誠(日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター、世界的に活躍する作曲家、ピアニスト、インドネシア国立芸術大学客員教授、東京芸術大学講師等を歴任。2003年第1回アサヒビール芸術賞、他の受賞歴あり。著書『音楽の未来を作曲する』他多数。)
- 清水 友美(ピアニスト、作曲家、ダンサー、シンガー、女優、武蔵野音大ピアノ科卒。現代音楽コンクール“競奏VI”第3位等、多数入賞。演劇やダンス音楽を中心に、作曲家としての依頼も数多い。女優としてDV被害者の手記「ひまわり」の朗読公演も行う。)
- 草柳 和之(桐朋学園大学講師、早稲田大学講師等をへて、現在、大東文化大学非常勤講師、日本カウンセリング学会認定・カウンセリング心理士、日本カウンセリング学会・東京支部会運営委員、日本音楽療法学会会員、著書『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)、共著『標準 音楽療法入門下』(春秋社)他多数、社会貢献支援財団より、平成27年度社会貢献者表彰を受賞、本作曲賞創設者。)

【パープルリボン作曲賞事務局】メンタルサービスセンター内 〒176-8799 練馬郵便局留

Tel03-3993-6147、070-5016-1871 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/>

★詳細はサイトをご覧ください。メンタルサービスセンター・トップページ中央部下方に本作曲賞の項目あり。

